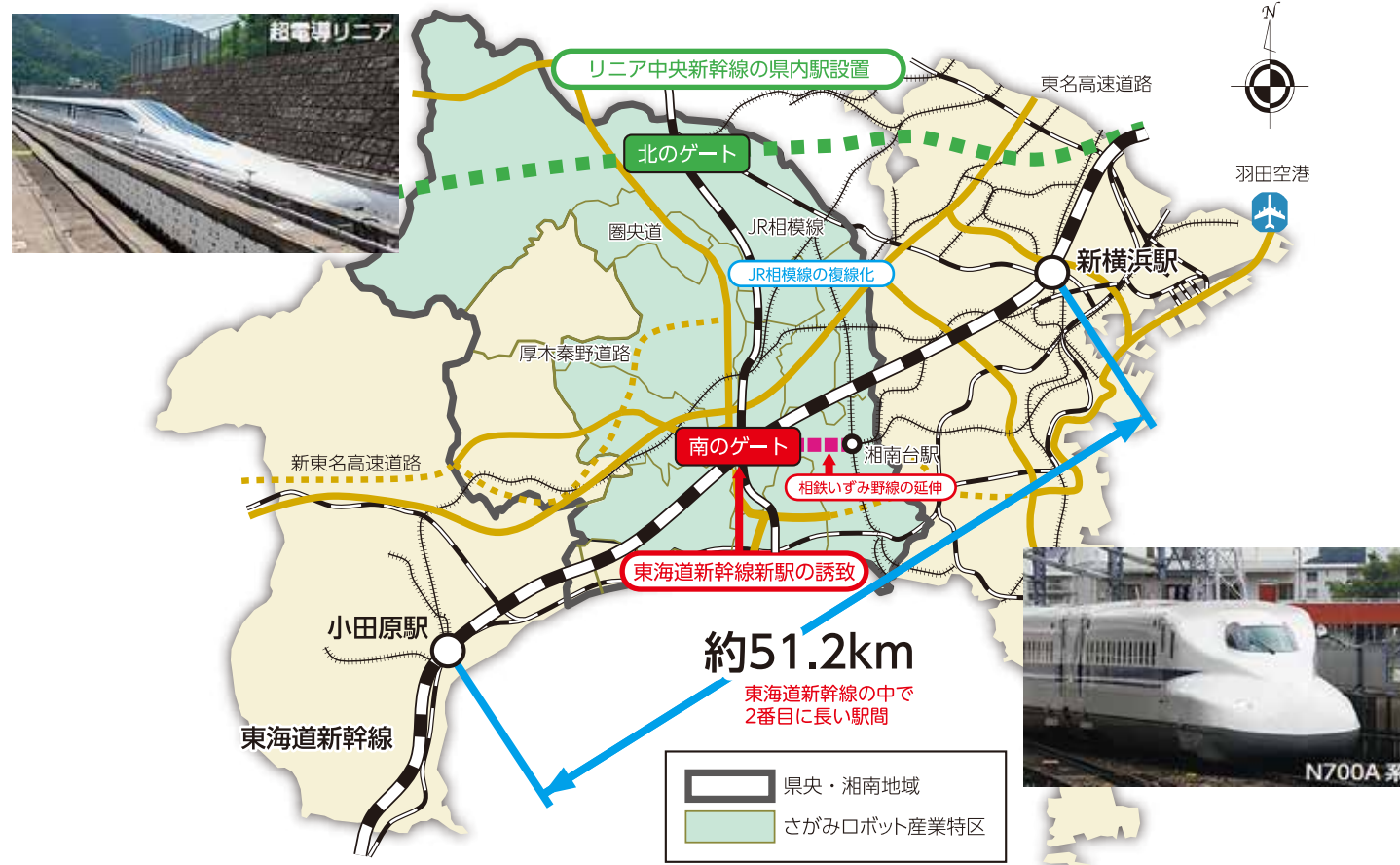


東海道新幹線新駅の誘致

神奈川県では、県中央部10市町及び経済団体などと「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」を設置し、ツインシティ倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致に取り組んでいます。

この新駅を核とする「南のゲート」は、相模原市内に設置されるリニア中央新幹線県内駅を核とする「北のゲート」とともに、全国との交流・連携の窓口となり、県土全体の発展に大きく寄与します。



東海道新幹線新駅ができる見込み

新駅設置の要望に対し、JR東海からは「中央新幹線が開業し、東海道新幹線のダイヤ構成に余裕が生まれれば、新駅設置の余地が高まる」との回答をいただいています。

リニア中央新幹線は開業に向け着実に事業進捗が図られており、新駅設置の可能性が高まってきていると受け止めています。

東海道新幹線新駅の可能性を高めるリニア中央新幹線

東海道新幹線の列車ダイヤに余裕がない。



リニア中央新幹線の開業により、現在「のぞみ」が担っている役割が移行し、東海道新幹線の列車ダイヤの構成に余裕が生じる。



東海道新幹線新駅設置の可能性が高まる。

環境共生モデル都市



ツインシティ



ツインシティ整備調整協議会

(神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会)

発行：ツインシティ整備調整協議会(神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会)

問合せ先：神奈川県県土整備局都市部環境共生都市課 寒川駐在事務所(ツインシティ整備推進センター)

〒253-0196 神奈川県高座郡寒川町宮山165(寒川町役場内)

電話：0467-72-6351 FAX：0467-72-6353

令和7年3月改訂

平塚市

ツインシティ大神地区

平成27年8月に、土地区画整理組合が設立され、土地区画整理事業により宅地造成や道路、公園などの整備が進められてきました。

都市基盤整備が進む中、地区の賑わいの核となる大型商業施設や、複数の物流施設が開業し、小学校が開校したほか、現在はまちの完成に向け住宅地の土地活用が着実に進むなど新たなまちの形成が進んでいます。



大神地区のまちなみ

タウンマネジメント※1

つくったまちを育てるため、地元自治会や立地企業などが連携し地区内のゴミをアップサイクル※2するイベントを開催するなど、さまざまな主体的な取り組みを実施しています。

※1 住民・事業主・地権者などが主体的にまちづくりに取り組む手法
※2 廃棄予定のものに新たな価値を付加して生まれ変わらせること



ペットボトルイルミネーション

ツインシティとは

東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と、相模川を挟んだ対岸の平塚市大神地区からなる、双子の新たなまちのことです。新たに（仮称）ツインシティ橋※を架けることにより、一体的なまちづくりをめざしています。

※ 令和6年2月に都市計画決定し、事業化に向けて調査・設計が進められています

普及啓発動画「ツインシティってどんな都市？」



ツインシティがめざす都市像

- 1 広域的な交流と連携の窓口（ゲート）となる都市
- 2 地域の環境と共生し、地球環境にやさしい環境共生都市
- 3 新しい産業を創出・育成する都市
- 4 新しい生活スタイル・ワークスタイルを実践する都市

寒川町

ツインシティ倉見地区

面整備検討区域（約63ha）のうち、新駅周辺整備検討区域（約24ha）を重点的に進める区域として設定し、地元の皆さんとまちづくりの話し合いを進めています。

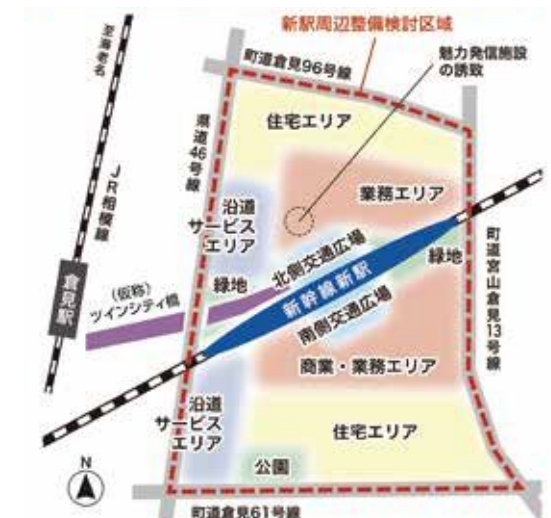
あわせて、令和元年よりJR東海とのまちづくりに係る技術的な打合せを行っています。

引き続き、まちづくりの検討を重ねながら、令和9年度頃を目途に、都市計画の手続きを開始できるよう取り組んでいきます。



まちづくり説明会

新駅周辺整備検討区域（約24ha）の将来の土地利用



※ 駅の位置、交通広場、道路等の都市施設の配置、各エリアの規模、配置、用途は現在検討中の内容であり、決定したものではありません。

環境共生の取組



クリーンエネルギーの活用



富士山の眺望の確保



環境に配慮した学校



EVバスの導入